

〈資金繰り表の記載例と作成時の留意点〉

			1月予定	2月予定	3月予定	4月予定
A. 前 月 繰 越 金			5,000	5,420	7,770	6,570
B・収入の部	売上代金	現金売上	300	350	200	300
		売掛回収	8,000	7,000	8,500	8,000
		受取手形期日入金	1,500	1,500	1,500	1,500
		小 計1	9,800	8,850	10,200	9,800
	その他	受取手形割引	500		1,000	
		その他		1,080		
		小 計2	500	1,080	1,000	0
B. 合 計 (1+2)		10,300	9,930	11,200	9,800	
C・支出の部	仕入代金	現金仕入	200	250	150	200
		買掛金支払	4,000	3,800	5,000	4,800
		支払手形期日決済	1,000	1,000	1,000	1,000
		小 計3	5,200	5,050	6,150	6,000
	経費支払	人件費	1,200	1,200	2,200	1,200
		通信費	100	100	100	100
		水道光熱費	300	300	300	300
		リース料	1,000	1,000	1,000	1,000
		地代家賃	200	200	200	200
		外注費	600	500	500	500
		租税公課	30	30	500	30
		修繕費	50		250	
		支払利息	300	300	300	300
		その他	500	500	500	500
		小 計4	4,280	4,130	5,850	4,130
	その他	積立金など	150	150	150	150
		その他			5,000	
小 計5		150	150	5,150	150	
C. 合 計 (3+4+5)		9,630	9,330	17,150	10,280	
D・借入金の部	借入金	長期資金 当庫			5,000	
		短期資金 当庫		2,000		
		長期資金 他行				
		短期資金 他行				
		個人借入				
		小 計6	0	2,000	5,000	0
	借入返済	長期資金 当庫	250	250	250	333
		短期資金 当庫				
		長期資金 他行				
		短期資金 他行				
		個人借入				
小 計7	250	250	250	333		
D. 合 計 (6-7)		△ 250	1,750	4,750	△ 333	
差 引 過 不 足 (A+B-C+D)		5,420	7,770	6,570	5,757	

月初の現預金有高を把握します。まずここからスタートです。

売掛金の回収は分かるところまで実績値を記入し、それ以降は過去の実績値を参考にするなどして予測します。

買掛金の支払いも分かるところまでは実績値を記入。それ以降は（売上予定額）×（予定原価率）で算出するのが一般的です。

賞与のような季節的な支出も忘れずに計上しましょう。

固定経費の項目は、貴社の必要に応じて設定してください。また、重要性がないものについては「その他」項目にまとめて計上しても構いません。

税金の支払いも忘れずに記入してください。

設備投資などの一時的な支出があれば計上しましょう。

借入金の支払利息や元金返済は返済予定表を基に記入すると間違いありません。

この数字がマイナスになると資金ショートの可能性を示します。